

南小だより

minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp

令和3年12月24日

12月号一②

さいたま市立南浦和小学校
電話 048-861-3781



本物に触れる

校長 小野 圭司

12月10日（金）の6年校内サッカー大会では、白熱したゲームの中、各学級で一致団結をした微笑ましい姿を見ることができました。6年担任に話を聞くと、大会に向けてはピリピリとした緊張した雰囲気もあったが大会を終えるといつもの子どもらしい表情が見られ、学年の絆が深まったとのこと。学校としていつもとは異なる場を設定することは、子どもたちの大きな成長につながるものだと改めて感じました。寒い中、多くの保護者の皆様には温かな声援を贈っていただきました。ありがとうございました。

さて、11月から12月にかけては各学年で遠足や社会科見学、プラネタリウム見学などの校外学習に出かけてきました。また、4年生は総合的な学習の時間において「地域の名人に学ぶ」の学習を、6年生は「未来くる先生」としてオーボエ奏者等の演奏を聴く学習を実施しました。どの学習においても、実際に見たり聞いたり本物の技に触れたりすることができました。

今はタブレット等を使いインターネットにつなげば様々な情報を得ることができ、実際に行き見たり聞いたりした気分になれます。バーチャル（仮想）の世界は大変効率的で、もしかすると数か国の国々を旅行したり数十人の人々の話を聞いたりすることと同じ成果が得られるかも知れません。しかし、写真や映像で触れることと実際に本物に触れることとは、子どもたちの印象や記憶に残る度合いが違わずです。文頭の6年校内サッカー大会についてもタブレット上での事実ではなく、実際に体を動かして勝負をし勝つ喜びと負ける悔しさを実際に感じることはできたのではないのでしょうか。正に「本物に触れる」体験ではなかったかと思えます。今後もタブレット等を効果的に活用し様々な知識等を得る学習を行っていきませんが、実体験や本物に触れる機会も学校として積極的に設定し、大きく成長した子どもたちの姿を期待したいです。

また、保護者の皆様や地域の皆様にはご多用の中、教育アンケートにご回答をいただき、ありがとうございました。多くの肯定的な評価や励ましの声、学校と子どもたちのことを考えた厳しいご意見もありました。私たちはこれらの成果と課題をしっかりと受け止め、今後も教職員一丸となって教育活動を進めていかなければならないと改めて感じた次第です。現在、校内で結果分析と今後の対応について協議しているところです。詳細は今後、お知らせしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

本校に赴任してあっという間の9カ月間でしたが、子どもたちとの楽しいかわりはもちろん、保護者の皆様や地域の皆様の温かなご支援のおかげにより、年末を無事に迎えることができそうです。ありがとうございました。

今後も新型コロナウイルス感染症の心配は尽きませんが、まずはゆっくりと体を休め、よいお年をお迎えください。